



聞いてよ! 伝次郎

関 せき
菜々花 なななか さん

福島市・飯野小4年

視点によって 書き方も多彩



さまざまな
新聞社、テレ
ビ局などの記

いろいろな新聞社の記者が
同じ出来事取材すると、
同じような記事になるの
ですか。教えてください。

者が同じ出来事取材するこ
とは毎日、たくさんあります。
同じものを見て、同じ人から
話を聞いても、それぞれの記
者が書いた記事が同じだっ
り、似ているとは限りません。
例えば、サッカーの日本女

子代表「なでしこジャパン」
がロンドン五輪アジア最終予
選を突破したニュース。ある
記者は「女王の賞祿、予選突
破」、別の記者は「五輪決定
も課題多く」と異なる内容の
記事を書くということがよく
あります。記者、あるいは新
聞社によってニュースを見つ
める視点、記事の書き方はさ
まざまです。

同じ物事に対していろいろ
な見方や意見があるというこ
とを知るのは大切ですね。小
学高学年の国語では、新聞記
事を読み比べながらさまざま
な考え方を学ぶ授業も行われ
ています。(地域交流室)

ジュニア新聞では子どもたちの意見や質
問、相談を受け付けています。〒960-
8602 福島市太田町一三ノ一七、福島
民報社地域交流室「聞いてよ、伝次郎」係
まで郵送するかファクス024(5331)
4117、メール life@minpo.ne.
jpまで寄せてください。

意見や質問 受け付け中

文章は四百字以内で、短い感想や質問も
受け付けます。必ず住所、氏名(ふりがな
も)、年齢、学校名、学年、電話番号を書
いてください。採用の場合、伝次郎オリジ
ナルグッズをプレゼントします。問い合わせ
せは地域交流室 電話024(5331)4
1450。